

アステカ大神殿における最新の発見：トラルテクトリの大石碑

The Latest Discovery of Huge Monolith of the Tlaltecuhтли at the Templo Mayor

トラルテクトリ神の石碑発見

2006年10月2日、メキシコの首都メキシコシティの中心部にある歴史地区において『国立テンプロ・マジョール博物館・都市考古学プロジェクト』の考古学者グループにより、巨大な長方形の石碑が発見された (fig. 1)。この安山岩の石彫は南北方向に3.57m、東西方向に4m、厚みが最大で38cmもあり、今まで発見された多くのアステカの石碑のなかで最大の表面積を持つ巨大なものである。この石碑にはアステカの大地の主である神(女神)トラルテクトリのレリーフが刻まれていた (fig. 2, 3)。また、赤、黄土、白、青、黒色の顔料の一部が残っており、この石碑には本来彩色が施されていたと考えられる。

トラルテクトリ神のモチーフが刻まれた石碑はこれまで40以上発見されているが、その大部分は石彫の下(裏)面に神像が彫られるという共通した特徴がある。つまり、神像は常に大地と接触していて、人目に触れることはなかったのである。しかし今回新しく発見されたものは例外で、むしろトラルテクトリ像が上面に彫られていることが、この作品の持つ優れた製作技術やレリーフの美しさと共に注目すべき特徴であろう。トラルテクトリ神は男神ないしは女神、あるいは両性で表現されるが、この石碑は女神バージョンで、正面画像で描くという女神トラルテクトリの一般的な表現方法が用いられている。ヒキガエルのように曲がった格好の腕と足は、出産時の姿や、敗北や降下を象徴的に表現するポーズとも言われ、地上界を四分分割するアステカの観念も想起させる。また、丸く縮れた髪は地上界と地下界の神々の特徴である。一方でこの女神像には、他のトラルテクトリ像には見られない特徴も見られる。髪の毛の後方上には、生贄と関連

があると思われる紙の帯がいくつも立っており、また石像の中心に丸く開けられた穴からあたかも湧き出たかのように、血の流れが彫り込まれ、左右に裂けた口に流れ込む様子が認められる。また女神の両肘と両膝に刻まれている頭蓋骨も特徴的であるが、中でも重要なのは、女神像の右足の^{かぎづめ}鉤爪につかまれている絵文字である。これは、ウサギの頭とその上部に見られる数字の2、その下部に見られる数字の10で構成されている。

トラルテクトリ石碑と王墓

最近私たちは、このトラルテクトリ女神像が埋葬に関わる石碑ではなかったかという仮説を発表しているが、これは第一に、女神トラル



fig.2 トラルテクトリ神を表す石碑上面。石碑は4部分に分断された状態で発見されており、当写真は部分写真をコンピュータ上で合成させたもの。
(Arqueología Mexicana, Raíces 2007, Proyecto Templo Mayor)



fig.3 左から「太陽の石」または「アステカの暦」(現在、メキシコ国立人類学博物館所蔵)、コヨルシャウキの円盤(現在、テンプロ・マジョール博物館所蔵)、そして今回発見されたトラルテクトリの石彫を同じ縮尺で並べたもの。
(Arqueología Mexicana, Raíces 2007, Proyecto Templo Mayor)



fig.1 トラルテクトリ石碑周辺の発掘調査。(2007年3月27日杉山三郎撮影)

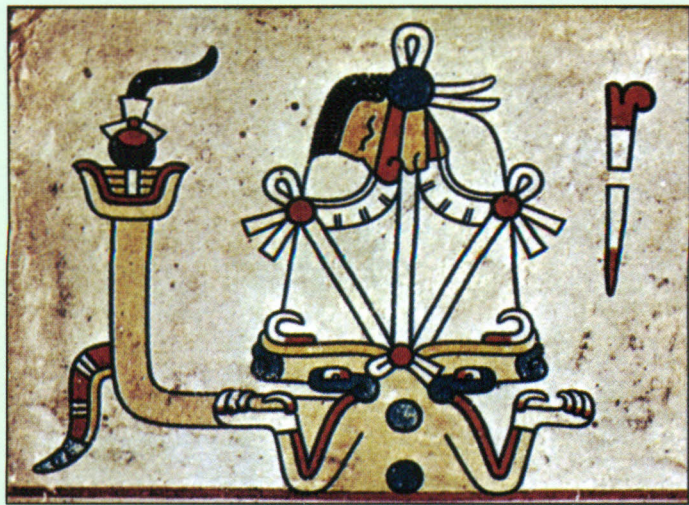


fig.4 大地の神であるトラルテクトリが、死体を飲み込む様子を描いている。(「フェイエアヴァリー・メイヤー絵文書」INAH保管復刻バージョン)

テクトリが先スペイン期の世界観の中で、「生を与え、生を奪う」という二重の役割を担っていたことに基づいている。トラルテクトリは、植物の育成や人間の妊娠・誕生の周期のなかで「生む力」を与える一方、血や遺体をあくことなく貪る神でもあった (fig. 4)。それも地上界の一般的な生き物を食べるだけでなく、日の入りごとに太陽を丸飲みにし、日の出にはそれを吐き出すという存在であると考えられていた。

仮説の第二の根拠は、この石彫がアステカの大神殿の真正面で見つかったということである。様々な古文書の記録によると、ここはクアウシカルコ (ワシの納骨堂) と呼ばれる建物があったとされる (p. 110, fig. 5)。16世紀にキリスト教の伝道のためメキシコに滞在していた修道士ディエゴ・ドゥランと、エルナンド・アルバラド・テソソモックの年代記が示すところによると、地上における太陽の代理人と考えられていたアステカの王のうち幾人かの遺灰が、クアウシカルコに葬られたという。これらの記録 (文書) は、王 (主権者) の体がテンプロ・マジョールのふもとでいかにして荼毘に付され、最終的にその灰がどのようにクアウシカルコの内部、もしくはその側面の床下に収められたかを説明している。

この葬儀は、少なくとも3人の王、没年1481年のアジャヤカトル王、没年1486年のティソック王、そして没年1502年のアウイソトル王の死後におこなわれた、ということが分かっている。面白い事に、トラルテクトリ神の鉤爪のなかに彫られた絵文字は二通りの違った形で読むことができ、その両方が王の死と関連付けられる。まず絵文字を「10のウサギ」と「2のウサギ」という、二つの日付に分けるとすると、一つ目は明らかに1502年のアウイソトルの死の年を示し、二つ目はプ

ルケ (リュウゼツランの酒) の神々、オメ・トチトリとの関係を示唆している。この神々は黄昏時に太陽を攻撃する存在で、興味深いことに、アウイソトルの死の原因となった洪水が起きたのがこの「2のウサギ」の年で、そのときは、アステカの暦によるとプルケの神々が支配者となった年であった。二つ目の読み方は、「12のウサギの年」と解釈する読み方で、この年は1478年に相当する。この年には日食が記録され、その時は「太陽が食べられ……そしてまた、人々を貪り喰う者たちも現れた……」といわれる。これらのことから、私たちは今回発見されたトラルテクトリ神の石彫が、アウイソトル王の葬儀の記念碑であると考えられる。この石碑が、地下界に沈む太陽と象徴的に同一視される王の死後、その体を貪り喰うトラルテクトリ女神を象徴していると考えられるからである。しかしこの石碑は、女神像が上表面に彫られているにもかかわらず、大神殿の最後の建築期に相当する床面に完全に覆われてしまって、結局レリーフが裏面にある他のトラルテクトリ像と同様、人目に触れることはなかった。

本年、この異彩を放つ興味深い石碑が、アステカ8代目の王アウイソトルの墓を覆っていたという仮説を確認するため、地球物理学者による探査と、考古学的発掘調査を実行に移す計画が進んでいる。もし王墓であることが確認されれば、初めてアステカ王墓を学術的に調査するケースとなり、それも王国の領土拡張を積極的に推し進めた権力者アウイソトル王に伴った副葬品を含んでいれば、アステカ王国の理解に貴重な資料を提供することは間違いないだろう。

—エドアルド・マトス・モクテスマ、レオナルド・ロペス・ルハン
(訳: 渡辺裕木)

On October 12th, 2006, a huge, square monolith (3.57 m north-south and 4 m east-west with a maximum thickness of 38 cm) was found in the center of Mexico City. It is a relief that represents an Aztec deity, Tlaltecotli, "God/Goddess of the Earth". This monolith represents the female version of this deity. This structure was found in front of Templo Mayor where diverse documents locate a structure called Cuauhxiccalco, a location for inhumation. The ashes of three Aztec kings are known to have been placed during ceremonies: Axayácatl in 1481, Tízoc in 1486, and Ahuítzotl in 1502. A glyph is carved by the claw of the right leg, which consists of the head of a rabbit next to the number "2" beside and "10" beneath the rabbit. This year glyph can be read in one of two ways: by separating it into 10 Rabbit and 2 Rabbit, or simply as 12 Rabbit (1478). If the former interpretation is correct, we think the Tlaltecotli monolith may be a funerary lapidary of king Ahuítzotl. This year we are planning to realize geophysical studies and conduct archaeological excavations in order to see if this exceptional sculpture covers the royal tomb of Ahuítzotl, the eighth ruler of the Aztecs.

— Eduardo Matos Moctezuma and Leonardo López Luján



インカ マヤ アステカ展

The Three Great Civilizations of
Mesoamerica & the Central Andes
The World of Maya,
Aztec and Inca



インカ マヤ アステカ展

The Three Great Civilizations of
Mesoamerica & the Central Andes

The World of Maya,
Aztec and Inca

[東京展]

会場: 国立科学博物館
会期: 2007年7月14日-9月24日
主催: 国立科学博物館、NHK、NHKプロモーション

[神戸展]

会場: 神戸市立博物館
会期: 2007年10月3日-12月24日
主催: 神戸市、神戸市立博物館、NHK神戸放送局、
NHKきんきメディアプラン

[岡山展]

会場: 岡山市デジタルミュージアム
会期: 2008年1月11日-3月16日
主催: 岡山市デジタルミュージアム、NHK岡山放送局、
NHKちゅうごくソフトプラン、山陽新聞社

[福岡展]

会場: 福岡市博物館
会期: 2008年3月25日-6月8日
主催: 福岡市博物館、NHK福岡放送局、NHK九州メディス、
西日本新聞社

後援: 文部科学省、外務省、
グアテマラ大使館、メキシコ大使館、ペルー大使館

企画協力: グアテマラ文化・スポーツ省、
メキシコ国家文化芸術庁/国立人類・歴史学研究所、
ペルー文化庁

協賛: あいおい損害保険、キヤノン、大日本印刷、トヨタ自動車
協力: KLMオランダ航空

[Tokyo]

National Museum of Nature and Science
July 14 – September 24, 2007
Organized by:
National Museum of Nature and Science, NHK,
NHK Promotions Co., Ltd.

[Kobe]

October 3 – December 24, 2007
Kobe City Museum
Organized by:
City of Kobe, Kobe City Museum, NHK Kobe Station,
NHK Media Plan, Inc.

[Okayama]

January 11 – March 16, 2008
Okayama Digital Museum
Organized by:
Okayama Digital Museum, NHK Okayama Station,
NHK Chugoku Software & Planning, Inc., The Sanyo Shimbun Co., Ltd.

[Fukuoka]

March 25 – June 8, 2008
Fukuoka City Museum
Organized by:
Fukuoka City Museum, NHK Fukuoka Station,
NHK Kyushu Medis Inc., The Nishinippon Shimbun Co., Ltd.

With the Support of:
Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology,
Ministry of Foreign Affairs,
Embassy of the Republic of Guatemala,
Embassy of the United Mexican States,
Embassy of the Republic of Peru

With the Assistance of:
Ministry of Culture and Sports of Guatemala,
National Council for Culture and the Arts of Mexico,
National Institute of Anthropology and History of Mexico,
National Institute of Culture of Peru

With the Sponsorship of:
Aioi Insurance Co., Ltd., Canon Inc., Dai Nippon Printing Co., Ltd.,
Toyota Motor Corporation

With the Cooperation of:
KLM Royal Dutch Airlines